

予備放流槽の定期点検の実施について

令和8年10月
幌延深地層研究センター

幌延深地層研究センターの地下施設からの排水については、ホウ素や窒素などの除去処理を行った後、道路沿いに敷設した排水管路を通じて天塩川に放流を行っています。この排水管路に異常が生じた場合に備え、国道 40 号（国道 232 号重複区間・新天塩大橋より天塩川下流側）沿い（別紙参照）に予備放流槽を設けており、バキューム車で排水を運搬することで放流を継続できるようにしています。

この予備放流槽については、年 1 回の頻度で定期点検を実施しており、今年についても下記の通り実施を予定しております。点検実施時は、予備放流槽付近にバキューム車が停車して作業をしますので、通行の際にはご注意をお願いします。

1. 実施日

令和8年10月15日(木) 8:00~12:00(予定)

2. 実施場所

別紙参照

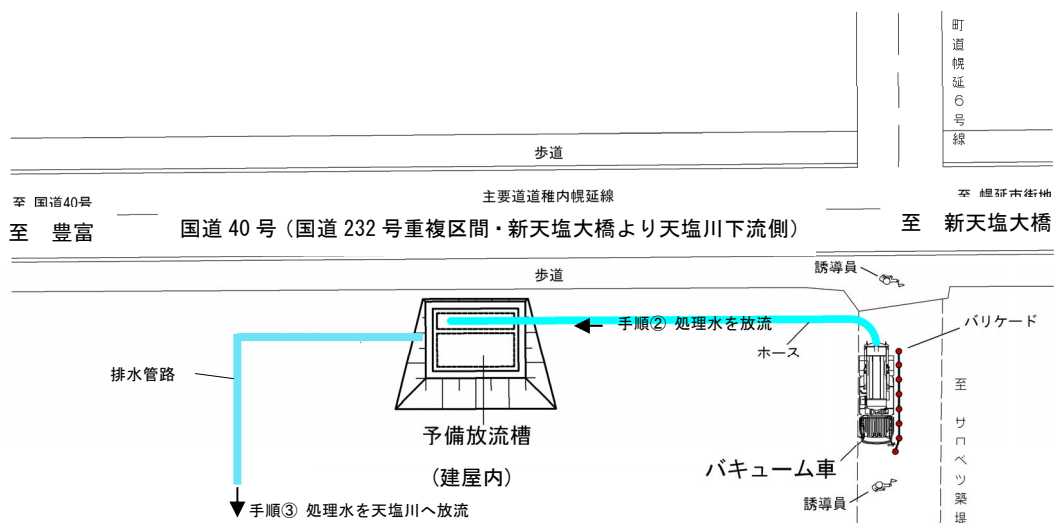
3. 定期点検手順

定期点検の手順は以下の通りです。

- ①揚水設備（地下施設内）にある操作盤により、排水管路による処理水の放流を停止
- ②揚水設備（地下施設内）の水槽内にある処理水をバキューム車で運搬し、予備放流槽の水槽へ放流
- ③予備放流槽の水槽内にある処理水を天塩川へ放流し、予備放流槽にある操作盤の操作手順と機器の動作確認を実施
- ④予備放流槽からの放流終了後に予備放流槽周辺の点検を実施

4. 運搬に使用する車両

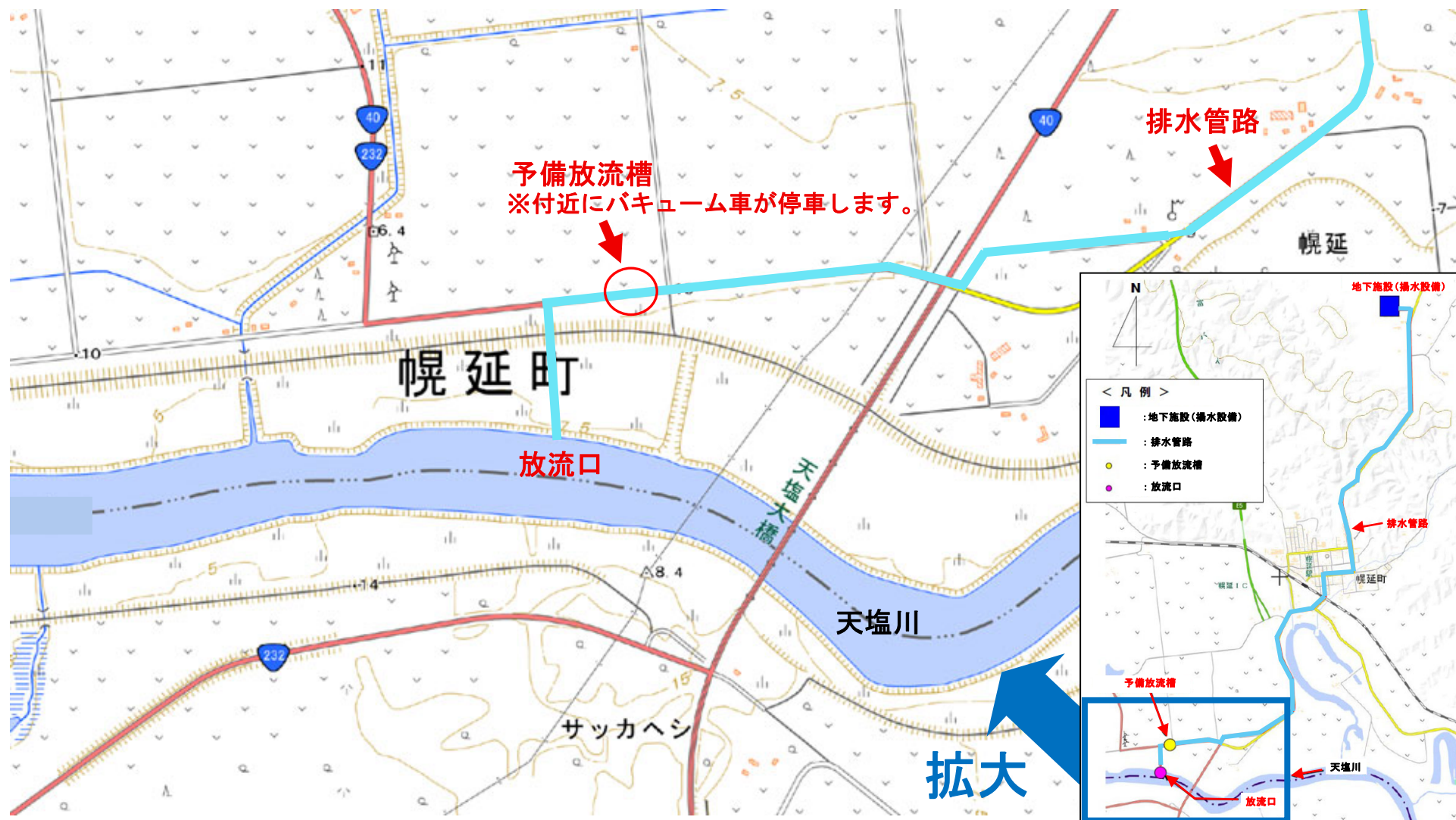
予備放流槽への処理水運搬は、バキューム車（8m³）1台による輸送（2往復程度）を予定しています。



定期点検時の予備放流槽付近の現場状況概要図

以上

別紙



定期点検実施場所